

社協たより

第204号

2024.12. 1

点字・拡大・音訳版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0026 福岡県直方市津田町7番35号
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
HP: <http://www.nogatashakyo.org/>



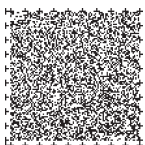
令和6年10月3日(木)に行った
直鞍地区 地域で「つながる」被災者支援セミナーの様子

もくじ

- 顔の見える関係を築いて
被災者の支援を…………… 2
- 総合型地域スポーツクラブFrech (フレッチェ)
情報の広場(歳末たすけあい運動)
図書室(ソコレの最終便)…………… 3
- 社協からのお知らせ(福祉もちつき会、福祉教育、アスカコーポレーション株式会社様からの
こども食堂支援)
ご寄附
社協会員紹介
編集後記…………… 4

「情けは人の為ならず、巡り巡ってわが身の為」ということわざがあります。自分にも出来るボランティアは何か? 少しでも人の役に立てる喜びを味わいたいものです。

(石黒)



色んなボランティアがあった
災害ボランティア

kantera

カンテラ



日本は昔から自然災害の多い国ですが、特に最近は豪雨による地滑り、河川の氾濫等による被害が多いように思います。一瞬にして家を、家族を亡くされ、また田畑を冠水された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

その度にボランティア募集がありますが、自分がすぐに思い浮かぶのは災害現場でスコップを持っている人の姿です。自分のような高齢者は無理だと思っていました。しかし、よく考えてみると、被災した人の避難場所での生活を支える様々な作業が必要なことを思いつくはずでした。

被災現場でのボランティアも後方支援のボランティアも寝食を自分で確保しながらかつ、ボランティアを果たすということは、半端な気持ちでは出来ません。また、義援金を送り資金援助をするボランティアもあります。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。



顔の見える関係を築いて 被災者の支援を

担当職員からいふこと

全国社会福祉協議会では、社協と地元関係者主体による「協働型災害ボランティアセンター」としての体制強化等を方針にしています。そのため、令和3年度から福岡県社会福祉協議会及び市町村社協では、諸団体と顔の見える関係づくりができるよう参加対象を幅広く設定し、災害ボランティアセンター設置運営訓練として「全体研修」と災害時支援協定を結んでいる複数の市町村社協ごとに「実地訓練」を開催しています。今年の10月3日には、地域の諸団体それぞれの強みを活かした被災者支援につなげることを目的に、直轄地区で「地域で『つながる』被災者支援セミナー」を開催しました。

近年、災害ボランティアセンターが設置される大規模災害が毎年のように発生しています。しかし、社協職員が災害ボランティアセンターの運営だけを行うことは、本来すべき社協の役割を果たすことができません。また、新型コロナウイルスの影響や被災地域の広域化により、ボランティアが集まりにくくなっています。

そのため、社協職員だけでなく企業やNPOなど他団体との協働が欠かせません。さて、災害ボランティアセンターには、主に6つの機能があります。

- ① 被災者（依頼者）のニーズ把握
- ② ボランティアの受付
- ③ 依頼者とボランティアのマッチング
- ④ 送り出し（活動場所の案内等）
- ⑤ 資機材の貸し出し
- ⑥ 総務（広報・会計等）です。

実際の災害時には、社協の全国ネットワークの利点を活かし、災害の規模に応じて他県他市町村の社協職員の応援要請、ボランティア活動用の資機材や水分補給用の飲料水等を調達します。

直方市社協でも、今年1月の能登半島地震をはじめ熊本地震や県内豪雨災害等の災害ボランティアセンターには本会から職員を派遣しました。また、初めての試みで、昨年7月の九州北部豪雨で大きな被害を受けた久留米市での活動を希望するボランティアを募集し、災害ボランティアバスを2日間運行しました。

今後、更に企業等と連携した地域の福祉力の向上を図っていきたいと考えています。



昨年度は、福岡県社会福祉協議会が主催する「全体研修」のすぐ後に豪雨災害が福岡県の各地で起きました。久留米市の災害ボランティアセンターの支援では、研修で一緒だったトヨタ自動車九州の方と協働型の支援を行いました。

開設されたばかりの災害ボランティアセンターは、過去に開設をしたことがある市町村の社協でも、試行錯誤しながら運営を行っています。

応援派遣の社協職員同士でも初めて顔を合わせる職員もいます。そのような中で、平時からつながりがある企業や団体の方々と協働することは、被災された方にとっても「生活の復興」を支援する社協にとっても大きな力になると感じています。

そのため、今回のセミナーを開催するにあたっては、直方市で災害が起きたことを想定し、市内で平時から活動をしている子ども食堂やライオンズクラブ、企業や防災士の方等に声をかけさせていただきました。研修の後には、「自分にもできることが見つかった」「平時からつながりを作りましょう」との声をいただくことができ、嬉しく思っています。

直轄地区として、社協職員向けの研修も行い、社協職員同士のつながりを深めることもできたと感じています。今後とも直方市だけでなく、直轄地区としても学びを深めていきたいと思っています。



直轄地区社協職員向け研修の様子

この社協だよりは、点字版・拡大版・音訳版もあります。ご希望の方はご連絡ください。

地域の輪

地域に根ざした独自の福祉活動を紹介します。

わんぱくにも楽しむ総合型地域スポーツクラブ Frech(フレッチェ)

Frechは、障害のある子もいない子も一緒にあって、勝ち負け重視ではなく、とにかく楽しみながらスポーツに取り組み、身体を動かす楽しさやチームプレーの大切さを学べるように、平成29年に発足しました。スポーツ庁が定める誰もが楽しめる総合型地域スポーツクラブとして登録されています。障がい児通所支援施設の「わんぱくハウス」等、長年幅広く障害児及び保護者を支援している「社会福祉法人わんぱく福祉会」が運営しています。

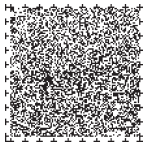
毎週続けていくうちに、子どもたちがいざつできてルールが守れるようになったり、風邪を引かなくなったり、転ばなくなり体力がつく等の変化を保護者の方々は感じているそうです。

野球・バドミントン・サッカー教室は

3〜18歳が対象です。

また、英会話教室「わんぱくABCクラブ」

は年齢区分に応じて3クラスあり、11月から



は大人も子どもも受講可能な「ピラティス・ヨガ教室」が始まりました。それぞれ年会費や1種目毎に月謝が必要です。新メンバーを募集しており、見学・初回体験は無料です。詳しくはホームページ・SNSに掲載されており、ですので、ぜひご覧ください。(藤田)

活動曜日と場所

- 英会話 (星ヶ丘市民センター またはわんぱくハウス)
- 野球 (直方イオン付近グラウンド)
- バドミントン (鞍手町立体育館)
- サッカー (直方イオン付近グラウンド)
- ピラティス・ヨガ (おおぞらハウス)

お問い合わせ
社会福祉法人わんぱく福祉会
0949-25-1357

【私たちが担当します!】



情報の広場

令和6年度歳末たすけあい運動(募金)にご協力ください!

歳末たすけあい運動は、安心して暮らすことが出来る福祉のまちづくりへの幅広い理解と参加を図るため、共同募金の一環として全国的に取り組まれています。

直方市内で皆さまから寄せられた寄附金は、全額が市内の福祉活動や地域活動に役立てられます。

令和6年度の目標額は、123万7000円で、寄附金の配分予定の一つとしていますが、12月に本会主催で行う福祉もちつき会です。昨年は約2000人の参加をいただき、交流活動を通じた地域のつながりの重要性を改めて感じる事が出来ました。

その他は、昨年同様小学校の福祉教育に役立てていただきたく、市内各小学校の教室に福祉カレンダーの作成・配布、福祉まつりの開催、校区福祉活動への助成です。

令和6年度も、皆さま方のあたたかい心で出来る限りのご協力の程よろしくお願いいたします。



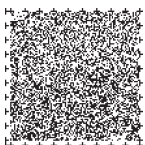
「ソコレ」の最終便

著者 野上 大樹
発行 ホーム社



大戦末期、ソ連軍の奇襲侵攻を受け、崩壊の危機に瀕する満州国。特命を帯びた装甲列車(ソコレ)が混乱の大地を駆け抜ける。昭和二十年八月九日、日ソ中立条約を破棄したソ連軍が突如として満州国へ侵攻を開始。国内全体が未曾有の大混乱に陥るなか、陸軍大将・朝倉九十九率いる一〇一装甲列車隊「マルヒト・ソコレ」に特命が下った。それは、輸送中に空襲を受けて国境地帯で立ち往生してしまつた日本軍唯一の巨大列車砲を回収し、はるかかなたの大連港まで送り届けよ、という関東軍司令官直々の緊急命令であった。疾走距離は二千キロメートル。タイムリミットは七日間!

(広田)



「福祉なんでも相談」受付中! お困りのことがあったらお気軽にご相談ください。



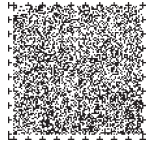
福祉もちつき会を開催します！



誰でも参加できる「福祉もちつき会」を開催します。
小さいお子様のもちつき体験もできます。試食やお持ち帰りもちの配付もあります。 皆さまのご参加をお待ちしております。

おもちつき

- と き 令和6年 12月15日 (日)
- と ころ 直方市殿町商店街
- 参加費 無 料

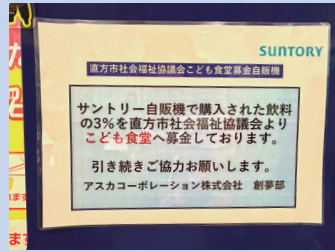


書き損じはがきや切手の寄附を受け付けています！



支援型自販機でこども食堂支援！

アスカコーポレーション株式会社様から、「自社に設置している自販機の設置手数料を、こども食堂支援の為に活用していただきたい」とお申し出いただき、市内のこども食堂支援にご協力いただけることになりました。今後は直方市社会福祉協議会をとおり、市内のこども食堂支援の為に活用させていただきます。ご支援、誠にありがとうございます。



- ご寄附ありがとうございます
令和6年9月11日～令和6年11月10日
7件 合計金額 61,611円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)
- 香典返し寄附金
- 下新人 (故)岸田千鶴子
- 一般寄附金
- 障がい者問題を考える直方市連絡会議
- アスカコーポレーション株式会社
- 匿名 2件
- 未使用(書き損じ)はがきと切手 匿名 2件

福祉教育のお手伝いをします！

市内の小学校や中学校の総合学習の授業で、福祉教育を行っています。地域の集まり等で実施することもできます。興味のある方はお問い合わせください。

- ・点字
- ・手話
- ・車いす
- ・白杖とアイマスク
- ・高齢者疑似体験 など



- 社協会員のご紹介
令和6年9月11日～令和6年11月10日
15件 合計金額 155,000円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)
- 個人会員 匿名 1件
- 団体会員
- 直方市更生保護女性会
- 西日本企画
- 法人会員
- 株式会社尾山建設
- 大谷金網工業株式会社
- 株式会社友愛会
- 長谷川化成有限会社
- 社会福祉法人福岡コロニー
- 有限会社イヅカペンディング
- 株式会社TAIKO
- 有限会社MKサポート
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 匿名 3件

編集後記

赤い羽根を胸に…
赤い羽根共同募金は、昭和22年12月に、「国民たすけあい運動」として始まりました。

戦後の焼け野原で苦しむ人々を助け合う目的で、市民主体の民間運動としてスタート！

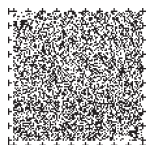
第1回は、約6億円の寄附が…。現在の貨幣価値で約1200億円相当。

戦後の、戦災孤児を預かる福祉施設などに…。

現在では、社会福祉を目的とする事業活動を幅広く支援することを目的に。

往時のように、外出時には赤い羽根を胸に挿して…。直方市民の皆さま、どうか良いお年を…。

(広田)



車いすなどの貸し出しをしています。詳しくはお問い合わせください。

